

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 熊本菊寿会

目 次

1. 基本理念・基本方針・経営方針 1
2. 令和1年度まとめ 2
3. 法人事業概況 2
4. 理事会状況 3
5. 評議員会状況 4
6. 監事監査及び外部監査状況 4
7. 運営組織図 4
8. 拠点報告	
① 法人本部拠点区分 5～7
② A 拠点区分 7～14
・特別養護老人ホーム 7～9
・ショートステイ 9
・デイサービス 10～11
・居宅介護支援事業所 12～13
③ B 拠点区分(保育園) 13～15
④ C 拠点区分(グループホーム) 15～17
⑤ D 拠点区分(介護付き有料老人ホーム) 17～19
⑥ D 拠点区分(サービス付き高齢者向け住宅) 19～21

社会福祉法人 熊本菊寿会

1. 基本理念

◀ 人との刻を大切に想う ▶

人との出会いを通して多くを学び、地域に必要とされる福祉施設として運営努力行います。また、ひとりを大事にする組織運営に努めてまいります。

基本方針

1. 人生を共に創造する。(人生は一遍の物語)

- ① 私たちは、関わる人々を想い、寄り添いより良い人生を共に創造していきます。
- ② 個人の尊厳に配慮し、共に住みよい暮らしを創造していきます。
- ③ 生活を楽しむことを中心とした空間を、共に創造していきます。
- ④ Life Cleatorとしての誇りを持ち、関わる人々と、共に幸せな空間を創造していきます。

2. 笑顔あふれる空間をプロデュースする。(笑顔は人を幸せにする)

- ① 感謝する心をもつ。「ありがとう」を大切にしていきます。
- ② 幸せを共有する。より良い未来を創り出し、関わる人全てが豊かな空間を創り出していきます。
- ③ 安心を共有する。安心して暮らせる空間を共に創っていきます。

3. サービスの質の向上と人材育成。(明日を信じて生きる)

- ① 今日よりも明日。誰のため、何のためのケアなのかを考え行動します。一人に向き合い、ケアの向上に努めます。
- ② 学びを大切にします。人を大切に思い、何ができるかを考え行動します。
- ③ チャレンジ。常に新しいことへ挑戦していきます。

経営方針

1. 法令厳守(コンプライアンス)

信頼される社会福祉法人として、関係する法令内容と精神を正しく理解し、遵守します。

2. 資産の有効活用と透明な事業経営と組織統治(ガバナンス)の確立

かけがえのない経営資産を有効に活用し、職員が働きやすい労働環境づくりや各種の協力体制の強化・拡大に努め、公正かつ透明性の高い適正な経営を可能にする実効性のある組織体制を構築し経営責任を果たします。また、個人情報適切に取り扱った上で、情報の積極的な発信・開示を行うとともに、外部機関による事業評価の実施などにより透明な事業経営を行います。

2. 令和3年度まとめ

福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るため、社会福祉法人の経営組織のガバナンスの強化・事業運営の透明化の向上・財務規律の強化・地域における公益的な取り組みなど社会福祉法人の役割が定められている。当法人を含め社会福祉法人は今まで社会福祉サービスの中核を担っており、公益性を高め地域の福祉ニーズを捉えきめ細やかな事業運営を図っていくことが求められている。

当法人では、経営組織の構築及び公認会計士等の指導による財務体制強化・労務管理強化を図り、公正かつ透明性の高い適正な経営を実施すべく、定款の変更、事業計画書の作成、役員報酬基準等を策定し令和3年度の事業運営を行った。

今後とも社会福祉法人が優れた公益性と非営利性を発揮し、特定の社会福祉事業の領域に留まることなく、あらゆる生活課題や福祉ニーズに総合的かつ専門的に即応することで地域に暮らす方がたに期待されている役割を十分に果たしていくためには、今般の制度見直しを真摯に受け止め、非営利性・公益性にふさわしい経営組織の構築、組織・事業の透明性向上、地域における公益的な取り組み、質の高い人材の確保・育成に一層積極的に努めてまいりたい。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症なども含めた「感染症や災害」への対応力の強化を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら社会福祉の主たる担い手として、地域から信頼される事業運営強化を図り、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括システムの構築にむけ努めてまいりたい。

3. 法人事業概要

法人名 社会福祉法人 熊本菊寿会
所在地 熊本県熊本市北区弓削四丁目8番1号
設立認可年月日 平成12年2月1日

第1種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム さわらび	54名	平成14年10月1日

第2種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所介護	ショートステイ さわらび	6名	平成14年10月1日
総合事業	デイサービスセンター さわらび	24名/日	平成14年10月1日
居宅介護事業所	居宅介護支援事業所	80名	平成15年4月1日
訪問介護事業所	ヘルパーステーションさわらび	38名	平成31年4月1日(再開)
認知症対応型	グループホーム 大和	9名	平成13年11月13日
保育所	大和保育園	60名	平成12年3月1日

公益事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
特定施設	介護付き有料老人ホーム	49名	平成25年4月1日
サ高住	サービス付き高齢者向け住宅 杉上	20名	平成31年4月1日

その他事業 なし

4. 理事会状況

役員の構成（令和4年3月31日現在）

理事 6名 監事 2名

理事会開催状況

開催日	出席人数		決議事項
	理事	監事	
令和3年 5月10日	6	2	1. 評議員候補者1名推薦について (書面決議)
令和3年 5月27日	6	2	1. 令和2年度第2次補正予算(案)の承認について 2. 令和2年度決算報告及び関連書類の承認について 3. 各種規程改訂及び新規規程承認について 4. 次期役員の選任(重任)について 5. 定時評議員会の招集について
令和3年 7月8日	6	2	1. 理事長及び常務理事の重任(選定)について (書面決議)
令和3年 10月5日	6	2	1. 独立行政法人福祉医療機構新型コロナウイルス感染症対策支援資金融資について 2. 政策銀行等への融資打診(感染対策支援金)について 3. 積立資産の目的変更について 4. 令和3年度第1次補正予算(案)の承認について 5. サービス付き高齢者向け住宅杉上の運営について

5. 評議員の構成(令和4年3月31日現在)

評議員定数 7名 (現員 7名)

評議委員会状況

開催日	出席者	主な決議事項
令和3年 6月25日	7	1. 令和2年度決算報告及び関連書類承認について 2. 次期役員の選任について (書面決議)

5. 監事監査及び外部監査状況

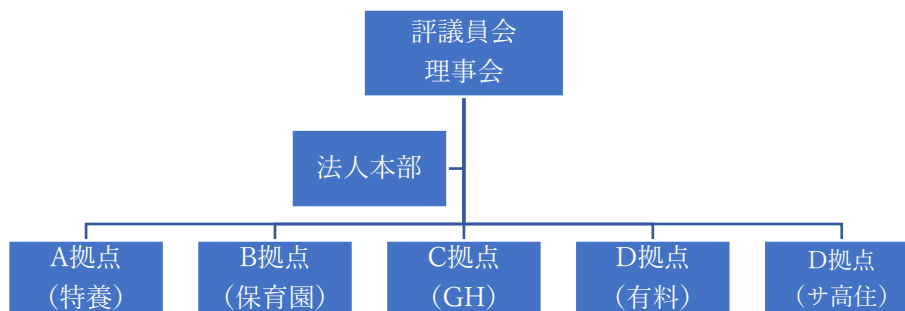
監事監査

年月日	出席者	監査事項
令和3年6月2日	監事 2名	1. 令和2年度各会計決算状況 2. 会計監査・業務監査

外部監査

監査機関	監査内容
松高公認会計士事務所 (毎月2回)	1. 各拠点会計監査 2. 預り金の管理状況監査 3. 運営状況について 4. 決算書類監査・月次書類監査 5. その他(各種書類等・経理処理全般)

7. 運営組織図



8. 拠点報告

① 法人本部拠点

法人本部 ・ さわらび保育園(認可外保育所:施設内託児所)

【活動状況】

1. 地域社会に貢献した取組

- ① 弓削地区健康まちづくり委員会への参加
- ② 介護勉強会の開催
- ③ 熊本県介護福祉士会会長による法人研修会の開催

2. ガバナンス強化及び安定的な財務基盤の確立への取組

- ① 安定的な財務基盤へ向け、理事、監事及び評議員を新たに任命。
法人の経営と各事業所運営のチェック機能強化及び相互牽制機能を強化に努めた。
- ② 内・外部監査の強化を図り、適正な処理に努めた。(公認会計士による監査実施)

3. 人材について

- ① 内・外部研修の参加及び勉強会に開催により、ケアの向上や職員の資質向上に努めた。
- ② 介護職員についての補充が難しく、一部派遣及び紹介会社の利用を行った。
- ③ 外国人技能実習制度を活用し、ベトナムから1名受入(合計3名)
- ④ OJT において体制づくり強化を図ったが、まだまだ改善の余地があり今後の課題となった。

4. 補助金収入

熊本労働局 事業所内保育施設設置・運営等支援助成金運営費 450,000 円

5. 外部研修参加の状況

新型コロナウイルス感染症の影響にて令和2年4月以降の外部研修は参加見送り又はオンライン研修の受講にて対応。(排泄・ケアマネ・認知症等の研修)

6. ボランティア団体(コロナにて実施なし)

ボランティア名		活動内容
1	柏原様	ギター・相撲甚句
2	片彦瀬ひよっこクラブ	日本舞踊・フラダンス・ひよっこ踊り
3	三菱電機、ヒデとベッピン一座	手品・踊り・歌
4	花柳舞の会	日本舞踊
5	筑後琵琶熊本旭会	琵琶演奏
6	熊本シンフォニックウインズ	吹奏楽
7	ひよっこ踊り愛笑会	ひよっこ踊り

8	西栄会	民謡・歌
9	和会	日本舞踊・ひよつとこ・3B 体操
10	SNN 秀明自然農法ネットワーク	詩吟・コーラス・演劇
11	ピアプルメリア武蔵	フラダンス
12	明日香会	踊り・大道芸・ちんどん屋・南京玉簾・手品
13	菊陽さくら会	南京玉簾・マジック・太鼓
14	民謡会	民謡・詩吟
15	野の花コーラス	コーラス
16	ご近所クラブ	スコップ三味線・ハイヤ踊り・コーラス
17	スマイリー健	フラダンス・懐メロ生バンド
18	キアロ託麻	オカリナ演奏・尺八・大正琴
19	さん陽舞の会	日本舞踊
20	熊本虹の会	太鼓
21	津久礼ヶ丘ひよつとこ会	ひよつとこ踊り・三味線
22	お笑いばってん楽団	歌・音楽演奏
23	ふしぎな花倶楽部	押し花
24	お話ボランティア	お手伝い・お話
25	貫一・一座	恋愛時代劇
26	ハーモニカ演奏	ハーモニカ演奏
27	フルートボランティア	フルート演奏
28	日本舞踊 岩嶺の会 中津会	日本舞踊
29	5 町内やまびこ劇団	女相撲
30	NPO 法人 熊本わくわく体操	歌に合わせたストレッチ
31	熊本 そばの会	そば打ち
32	あじさいグループ	郷土料理・物づくり
33	ビリ・アロハ	フラダンス
34	ママ sun コーラス	コーラス
35	トキママ	日本舞踊
36	シニアネット クラブ	
37	シェイシェイみわ	太極拳
38	吾亦紅	トンチャイム・アルトサックスの演奏
39	尺八 青山会	尺八の演奏
40	Jiji Band	キーボード・ハーモニカ演奏
41	マリアージュ	コーラス
42	カンカン一座	大衆演劇
43	コスモスボランティア	ギター演奏・踊り・フラダンス

44	十六夜会	日本舞踊
45	ゆたかクリエイト	フラダンス・コーラス・日本舞踊
46	杉並太鼓	太鼓の演奏

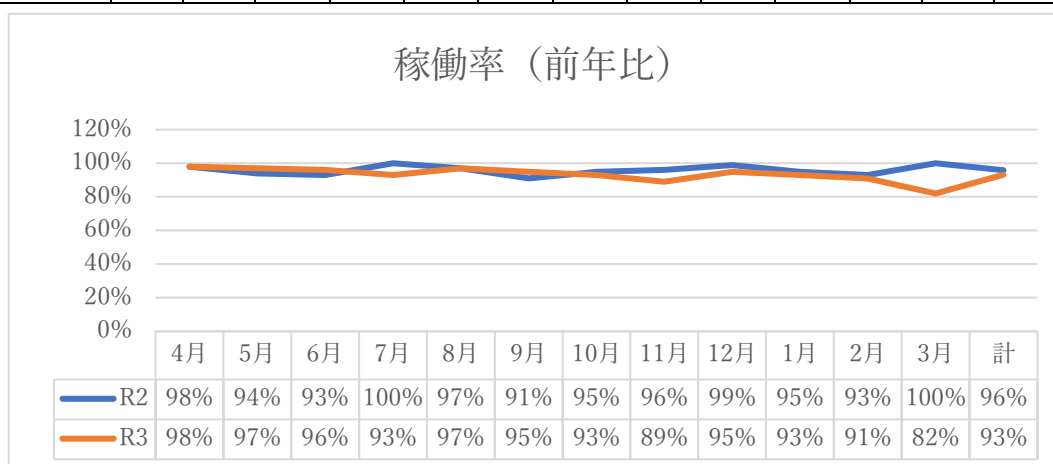
② A 拠点

特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・居宅介護支援事業所

【特別養護老人ホーム さわらび】

1. 稼働実績

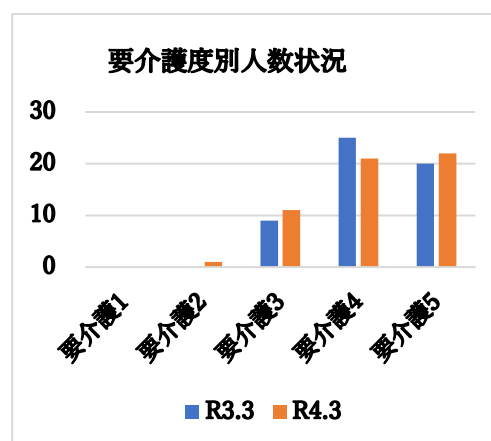
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,583	1,630	1,549	1,552	1,629	1,543	1,549	1,439	1,598	1,559	1,369	1,378	18,378
稼働率	98%	97%	96%	93%	97%	95%	93%	89%	95%	93%	91%	82%	93%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R3.3	0人	0人	9人	25人	20人	54人
R4.3	0人	0人	11人	21人	22人	54人



3. 職員状況

	施設 長	生活 相談 員	介護 職員	看護 職員	介護支 援専門 員	管理 栄養 士	機能訓 練指導 員	調理 職員	事務 職員	配置 医師	その 他	計
職員数	1	1	26	4	1	1	1	4	4	嘱託	2	45

注) 職員数はパート職員を含む。法人事務局及び併設のショートステイの従事者を含む。

4. 利用者の処遇に関する取組み

① 生活援助等について

利用者の基本的人権を尊重、及び無差別平等の対応を基本として、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に、出来るだけ自立した生活を維持出来るよう、サービス計画に基づき適切な処遇に努めた。

② 教養娯楽活動について

「年間行事計画表」に沿って、利用者の心身の状況及び希望・意向等を尊重し、各種教養娯楽活動を実施した。日常生活がうるおいのある、楽しみのあるものになるように努め、「生活の質(QOL)の向上」に努めた。

③ 家族との交流について

今年度はコロナの影響で家族会の開催はできず、熊本県発令のリスクレベル 3 の時は窓越し面会の実施、リスクレベル 4・5 の時はオンライン面会で家族との交流を行った。

④ 給食の提供について

利用者の身体的特性、栄養所要量、嗜好、季節感等を考慮し、利用者がくつろいだ雰囲気のもとで、楽しく食事が出来るように努めた。今後は更に職員間でミーティングを行い、より良い環境づくりに努めていく。

厨房については、給食設備・食器類等の衛生管理に留意し、給食の万全に努めた。

⑤ 非常災害訓練

令和 3 年 8 月 18 日 昼間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施

令和 4 年 3 月 23 日 夜間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施

注) A 拠点合同にて消防訓練実施。

⑥ 地域交流・ボランティア

コロナの影響により、当面の間中止している。

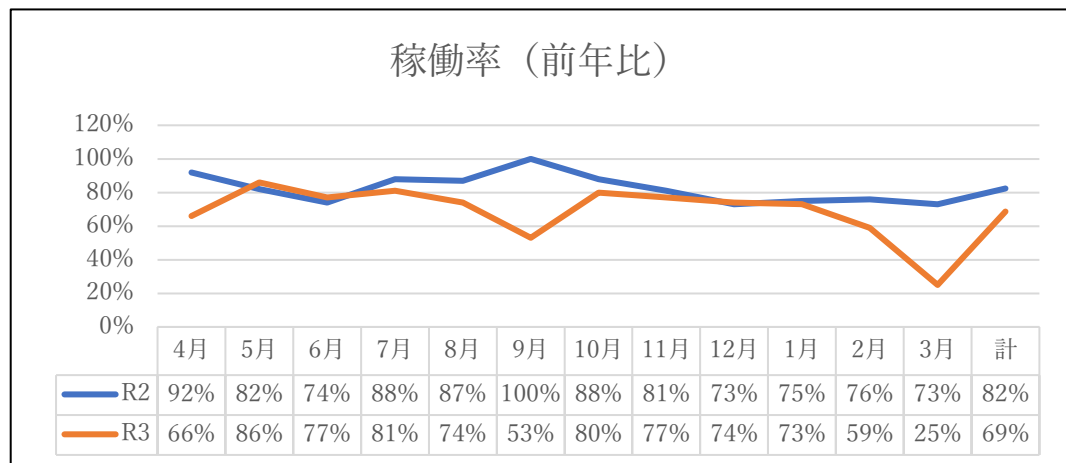
⑦ 職員研修

専門的知識及び技術に関する研修(オンライン)に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。研修で学んだ内容を職員研修会や勉強会・カンファレンス等で情報の共有を行い、より良い支援に向けて取り組んだ。

【ショートステイ さわらび】

1. 稼働実績

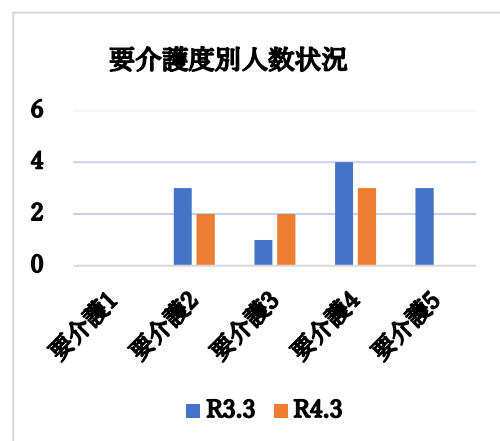
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	118	160	138	150	138	96	149	139	138	136	99	46	1,507
稼働率	66%	86%	77%	81%	74%	53%	80%	77%	74%	73%	59%	25%	69%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】

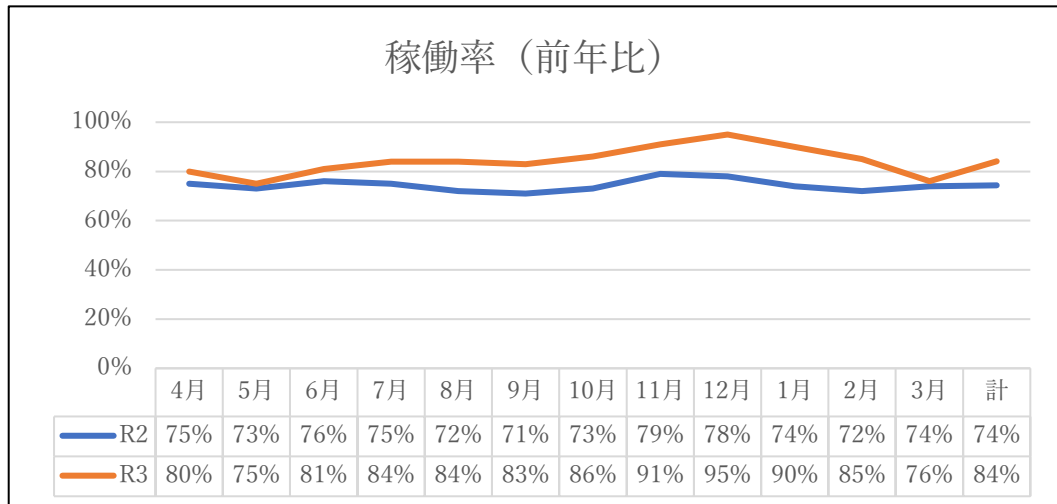
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R3.3	0人	3人	1人	4人	3人	11人
R4.3	0人	2人	2人	3人	0人	7人



【デイサービスセンター さわらび】

1. 稼働実績(要介護のみ)

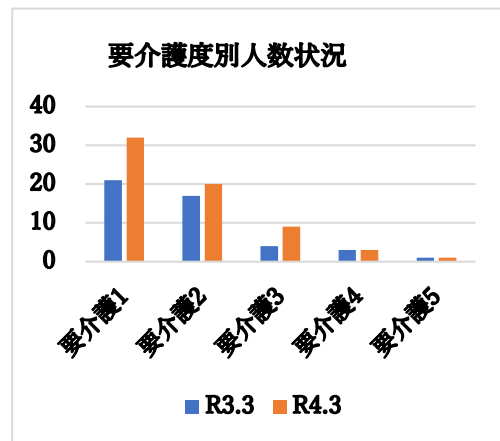
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	564	530	568	614	591	580	601	642	664	585	576	392	6,907
稼働率	80%	75%	81%	84%	84%	83%	86%	91%	95%	90%	85%	76%	84%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R3.3	21人	17人	4人	3人	1人	46人
R4.3	32人	20人	9人	3人	1人	65人



注) 上記より、稼働率 UPと要介護利用により、対昨年収益増となっている。

今後も継続して運営を実施していく。

3. 職員状況

	管理者	生活 相談 員	介護 職員	看護 職員	機能訓 練指導 員	計
職員数	1	1	6	2	1	11

注) 職員数はパート職員を含む。

4. デイサービス運営に関する取組み

① 自立支援援助について

利用者本人の能力を引き出す支援を基本方針として R2 年度事業に取り組んだ。
職員、利用者がお互いに自立へ向けた取組みを実施し、「手伝うこと」から「見守ること」へ支援体制をシフトさせ、一人ひとりの ADL と QOL の向上に努めた。

② 個別支援援助について

一人ひとりに適した「生活支援」と「関係支援」を行うことが、その人らしい「人格と存在」を支援すると考え、一人ひとり違って当たり前という個別支援の重要性を理解し、利用者それぞれの思いや目標を明確にし、実現に向けて一緒に取り組んだ。今後更なる支援に向けて職員の資質向上を図っていく。

③ レクリエーション活動及びクラブ活動の立ち上げ

利用者ニーズを的確に把握し、ニーズに応じたサービスを提供することに合わせ、利用者のニーズに合わせたグループごとの作業やレクリエーションの提供を計画し実施した。

園芸クラブやお茶クラブでは、利用者が中心となり、野菜の栽培や収穫・我流による点茶など、利用者全体で楽しみながら作業に取り組むことができた。

(コロナ禍で出来る事に取り組んだ。)

④ 非常災害訓練

令和 3 年 8 月 18 日 昼間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施

令和 4 年 3 月 23 日 夜間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施
注)A 拠点合同にて消防訓練実施。

⑤ 地域交流・ボランティア

コロナの影響により、当面の間中止

⑥ 職員研修

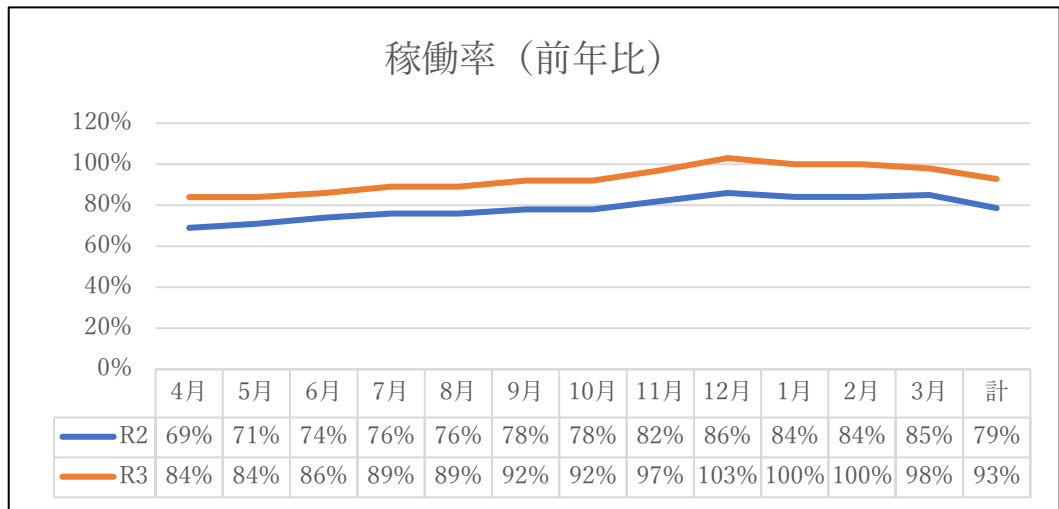
専門的知識及び技術に関する研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

研修で学んだ内容を職員研修会や勉強会・カンファレンス等で情報の共有を行い、より良い支援に向けて取り組んだ。

【居宅介護支援事業所 さわらび】

1. 稼働実績

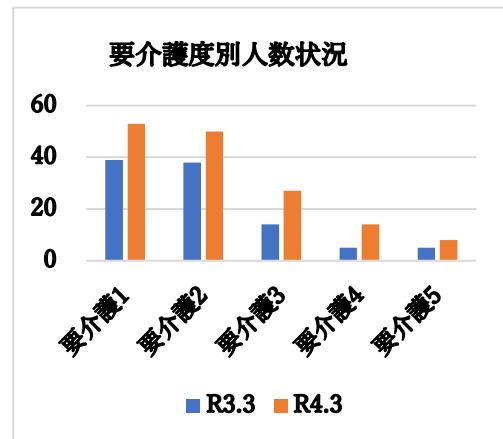
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実績	118	118	121	125	125	129	129	136	144	140	140	137	1562
稼働率	84%	84%	86%	89%	89%	92%	92%	97%	103%	100%	100%	98%	93%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】(要介護のみ)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R2.3	39人	38人	14人	5人	5人	101人
R4.3	53人	50人	27人	14人	8人	152人



3. 職員状況

	管理者	介護支援専門員	計
職員数	(1)	3	3

注) 管理者は相談員を兼務

4. 居宅介護支援事業所運営に関する取組み

① 相談援助技術の向上について

居宅サービスを取り巻く環境が厳しくなり、事業所内外や関係機関との緊密な連携を図り、情報共有や事例検討会等を行った。利用者がより適切かつ円滑なサービスが受けられるよう自己研鑽やチーム連携強化に努め支援を行った。

② 医療・保健・福祉関係機関との連携について

多職種連携会などに積極的に参加し、多職種との交流や勉強会・事例検討会に参加し連携強化に努めた。

③ 地域との連携強化

コロナの影響で地域サロンへの協力が出来ていない。収束後は地域自治会や民生員との連携を図り、多様化する福祉ニーズへの対応と発掘に取り組みたい。

④ 主な活動内容

1. 居宅包括連携会への参加(リモート)
2. 事業所連絡会への参加(リモート)
3. コミュニケーションスキル研修会への参加

⑤ 専門職としての資質の向上

ケアマネジメント・認知症ケアネットワーク・対人援助技術・苦情解決・個人情報保護に関する要件・認定調査に関すること・コンプライアンス等につき、内外研修やオンライン研修を受講し、居宅職員で情報共有及び研鑽を行った。また、事例検討会を定期的に行い資質の向上に努めた。

⑥ 働き方改革

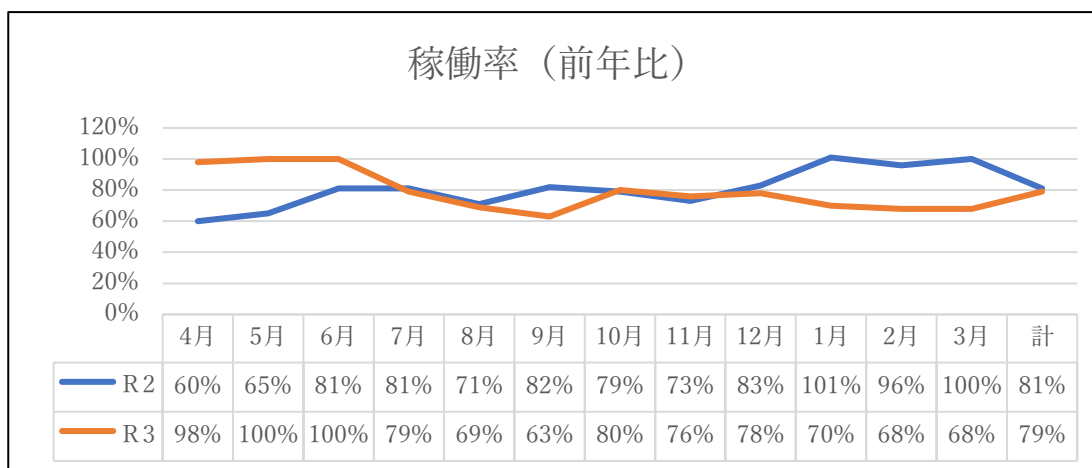
職場改革に取組み、業務の改善を図った。毎週水曜日にミーティングを行い、各自相談しやすい環境を整備行った。また、さわらび全体での情報共有のために、地域連携会議を毎週火曜日に開催し、現状の問題点等につき情報共有し解決に向けて取り組んだ。

③ B 拠点区分

大和保育園

1. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	2	3	4	4	5	7	7	8	9	10	11	11
1,2歳児	20	20	21	20	19	20	20	21	21	20	20	20
3歳児	16	16	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18
4歳児	11	10	10	10	9	10	10	11	11	10	10	10
5歳児	10	10	10	10	10	10	10	12	12	12	12	12
計	59	59	62	61	60	64	65	70	71	70	71	71
稼働率	98%	100%	100%	79%	69%	63%	80%	76%	78%	70%	68%	79%



2. 職員状況

	園長	保育士	事務員	栄養士 (委託)	調理員 (委託)	計
職員数	1	11	1	1	2	16

注) パート職員を含む

3. 開所時間(日・祭日は休園)

月曜～土曜 7:00～20:30 (内標準 7:00～18:00、短時間 8:00～16:00)

4. R3年度保育園運営について

① 保育について

3歳未満児と3歳児以上児に区別して計画した内容に沿って保育所運営を行った。全年代に共通して、保健的で安全な環境づくりに力を入れ、快適に生活できる場の提供を行った。また、一人ひとりの子どもの状態に応じて、スキンシップを十分にとりながら心身ともに快適な状態を作り、情緒の安定に努めた。

教育では、3歳児未満では、生活や遊びの中から得る学びを中心に、3歳児以上では、複雑な運動や集団からの学びを中心に実施し協調の態度を養い道徳性の向上に努めた。

② 特別保育について

1. 一時保育の実施。
2. 保護者への育児講座。（保護者会にて実施）
3. 和太鼓教室。
4. 体育教室。（専門の講師による体育指導を実施）

③ 主な開催行事

月	行事内容
4月	入園式・わかくさ号
5月	お見知り遠足・園児健康診断・幼年消防団結成
6月	歯科検診、講座
7月	プール開き
8月	夏祭り・人形劇鑑賞・ボディペインティング
9月	運動会
10月	ハロウィン・年長児一日キャンプ
11月	こどもの音楽会・音体フェスティバル
12月	もちつき・クリスマス
1月	新年子ども会・たこあげ
2月	節分・歯科講座・子どもお遊び会
3月	ひな祭り・お別れ遠足・卒園式

④ 事故防止・安全管理

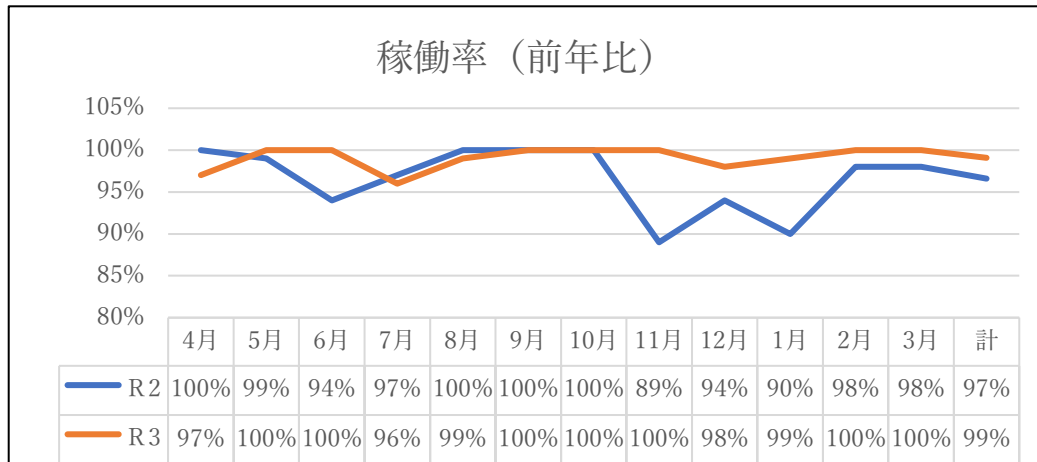
事故防止・安全管理は保育の大事な目標であることから、職員間の連携やスキルアップの向上に努め運営を行った。また、交通事故の防止について、家庭・地域と協力し、機会あるごとに交通ルールの遵守指導・毎月定期的に交通指導や避難訓練を行った。

⑦ C 拠点

グループホーム 大和

1. 稼働実績

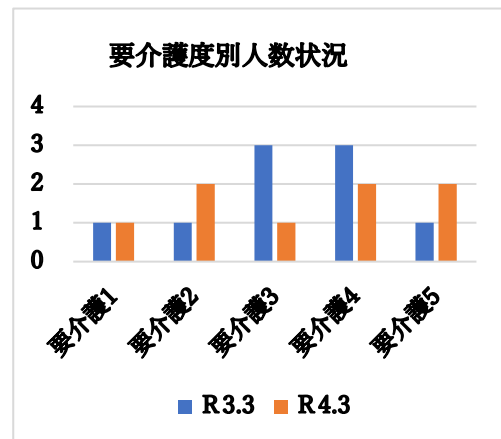
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実績	262	279	270	269	275	270	279	270	274	275	252	279	3,254
稼働率	97%	100%	100%	96%	99%	100%	100%	100%	98%	99%	100%	100%	99%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R3.3	1人	1人	3人	3人	1人	9人
R4.3	1人	2人	1人	2人	2人	8人



3. 職員状況

	管理者	介護職員	看護職員	介護支援専門員	事務職員	計
職員数	1	7	1	(1)	(1)	9

注) 事務は本部にて管理。職員数はパートを含む。

4. 利用者の処遇に関する取組み

① 生活援助等について

平穏な日常生活を送れるように、利用者の今までの背景を基に生活支援を行い、日常生活が

継続して行えるよう、食事作り・掃除・洗濯・買い物など可能なことはスタッフとともに行うことを心掛けて取り組んだ。

② ケアプラン作成とその実施について

各個人の性格、状態に適したケアプランを作成し、それに沿ったケアの提供を行った。ケアの提供により、認知症の悪化防止とその回復に努めた。

③ 家族との交流について

コロナの影響で窓越し面会実施。

そのほか、誕生会やイベント時には外出できない分、職員共同で楽しめることを目標として取り組んだ。

④ 教養娯楽・個別支援について

日常生活の変化により脳の活性化を図るとともに、外出の楽しみや喜びを見出すことを目的とし、温泉体験や家族との食事会を開催。今後も計画的に実施に努める。

⑤ 非常災害訓練

年2回(R3.11月・R4.3月)に実施。

⑥ 地域交流・ボランティア

地域のイベントの中止が相次ぎ、参加できてなかった。

⑦ 職員研修

専門的知識及び技術に関する研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

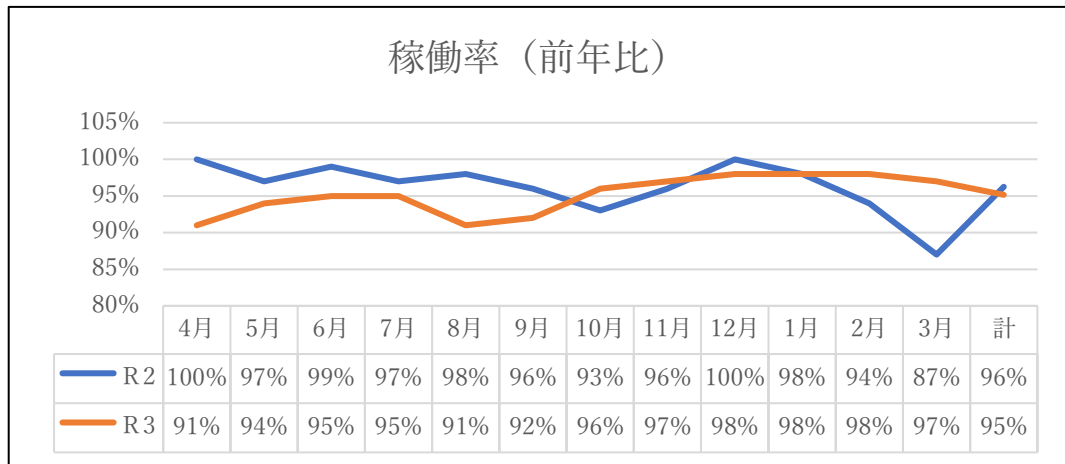
研修で学んだ内容を職員研修会や勉強会・カンファレンス等で情報の共有を行い、より良い支援に向けて取り組んだ。今後は利用者の状態により、吸引等についても研修受講を検討していく必要があり、次年度に向けて計画的に取り組んでいきたい。

⑧ D 拠点

介護付き有料老人ホーム さわらびⅡ

1. 稼働実績

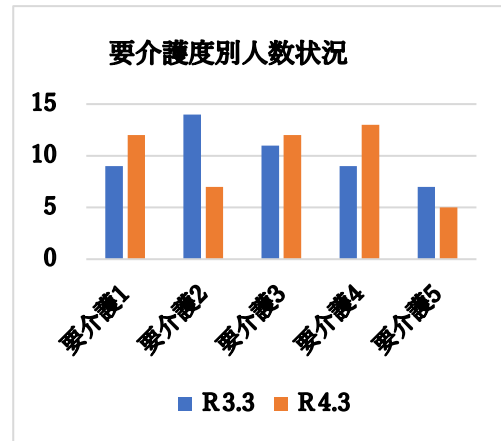
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,339	1,432	1,402	1,438	1,377	1,356	1,453	1,425	1,492	1,495	1,344	1,479	17,032
稼働率	91%	94%	95%	95%	91%	92%	96%	97%	98%	98%	98%	97%	95%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R3.3	9人	14人	11人	9人	7人	50人
R4.3	12人	7人	12人	13人	5人	49人



3. 職員状況

	施設 長	生活 相談 員	介護 職員	看護 職員	介護支 援専門 員	管理 栄養 士	機能訓 練指導 員	調理 職員	事務 職員	配置 医師	その 他	計
職員数	1	1	19	2	(1)	1	1	5	2	嘱託	4	36

注) 職員数はパート職員を含む。

4. 利用者の処遇に関する取組み

① 生活援助等について

自立した日常生活を営むことができるように、常に入居者の心身の状況を把握し、入居者の意向に沿った適切なサービスを提供し支援に努めた。

② 教養娯楽活動について

「年間行事計画表」に沿って、利用者の心身の状況及び希望・意向等を尊重し、各種教養娯楽活動を実施した。日常の生活がうるおいのある、楽しみのあるものになるように努め、「生活の質(QOL)の向上」に努めた。

③ 家族との交流について

コロナの影響で窓越し面会、オンライン面会を実施。また、4 か月に 1 回文章でご利用者様の様子を写真付きで郵送し、施設でお過ごし頂いている状況の報告に努めた。

④ 給食の提供について

入居者の身体状況に配慮した食事や、嗜好や季節感を考慮した食事につき、管理栄養士を中心として提供を行った。更に、より楽しい食事ができるように配慮し、食事改善に努めた。厨房については、給食設備・食器類等の衛生管理に留意し、給食の万全に努めた。外出行事ができないので、実演・リクエスト食など五感を使って楽しめる食事の提供に努めた。

⑦ 非常災害訓練

令和 3 年 8 月 23 日 昼間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施

令和 4 年 1 月 28 日 夜間間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施

⑥ 地域交流・ボランティア

コロナの影響で当面中止、事業所内の職員によるレジ教室を実施した。

⑦ 職員研修

専門的知識及び技術に関する研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

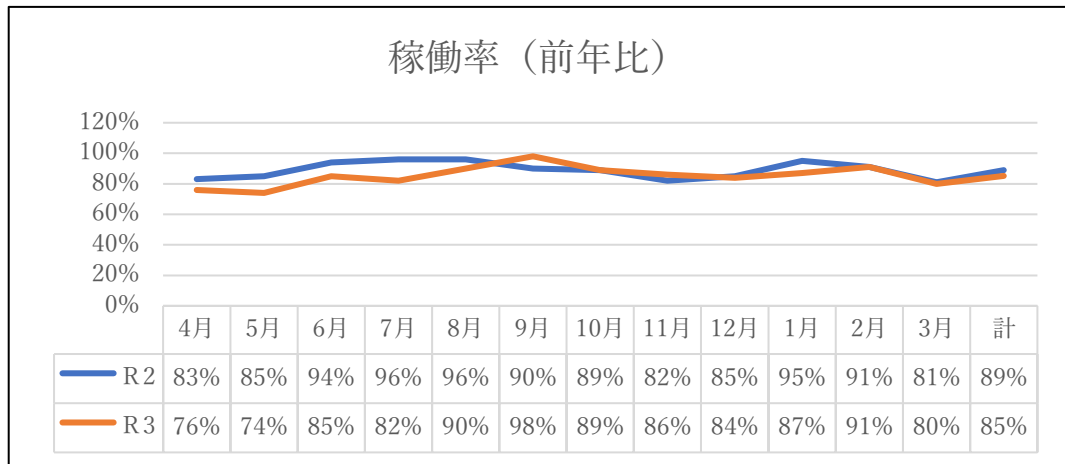
研修で学んだ内容を職員研修会や勉強会・カンファレンス等で情報の共有を行い、より良い支援に向けて取り組んだ。

⑨ D 拠点

サービス付き高齢者向け住宅 杉上

1. 稼働実績

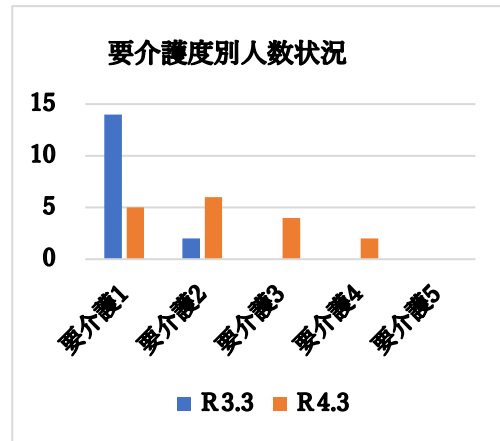
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	457	461	511	508	558	590	550	514	523	539	509	493	6, 213
稼働率	76%	74%	85%	82%	90%	98%	89%	86%	84%	87%	91%	80%	85%



2. 介護度別人数

【要介護度人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
R3.3	14人	2人	0人	0人	0人	16人
R4.3	5人	6人	4人	2人	0人	17人



3. 職員状況

	管理者	サービス提供者 管理者	介護職員	看護職員	介護支援専門員	管理栄養士	機能訓練指導員	調理職員	事務職員	配置医師	その他	計
職員数	1	1	4	(1)				3	(1)		2	10

注) 職員数はパート職員を含む。

4. 利用者の処遇に関する取組み

① 生活援助等について

いつまでも住み慣れた地域で「楽しく」「快適」に暮らせるように、利用者様の日々の暮らしを支え、在宅事業としての「自由」と、施設としての「安心」の双方を兼ね備えた住まいとして、利用者様が自立した日常生活を営むことができるように、常に入居者の心身の状況を把握し、入

居者の意向に沿った適切なサービスを提供し支援に努めた。

② 家族との交流について

コロナの影響で窓越し面会、オンライン面会を実施。また、4 か月に 1 回文章でご利用者様の様子を写真付きで郵送行った。

③ 給食の提供について

入居者の身体状況に配慮した食事や、嗜好や季節感を考慮した食事につき提供行った。更に、より楽しい食事ができるように配慮し、食事改善に努めた。

④ 非常災害訓練

令和 3 年 8 月 25 日 昼間想定、地震時の火災による避難訓練及び消火訓練実施

⑤ 地域交流・ボランティア

コロナの影響で当面中止、事業所内の職員による手作り工等の教室を実施した。

⑥ 職員研修

専門的知識及び技術に関する研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

研修で学んだ内容を職員研修会や勉強会等で情報の共有を行い、より良い支援に向けて取り組んだ。